



花小金井南中学校
コミュニティ・スクール通信

まほろば

「素晴らしい場所」となりますように

No. 5

令和4年11月24日 発行
小平市立花小金井南中学校
学校経営協議会
会長 眞部 弘

<https://www.kodaira.ed.jp/38kodaira/>



第6回学校経営協議会開催にあたり

学校経営協議会 会長 眞部 弘

学校経営協議会も会を重ねるごとに、委員同士のコミュニケーションもよくなっていると感じています。第2回からスタートしている3つの分科会協議については、各分科会での検討事項を協議する時間が足りないという話を多くの委員から聞いています。これは、協議する内容がはっきりしてきたことや、前述している委員間のコミュニケーションがよくなってきたさらに話を進めたいという前向きな気持ちの表れであると思います。本日の学校経営協議会では、分科会の時間をできるだけ多く確保して実施します。どうぞよろしくお願いします。

I 第6回学校経営協議会 報告

(1) 校長あいさつ

(2) 本日の流れの確認

(3) 学校情報について

① 学校全般について（油井信之主幹教諭）

② 教務関係（油井信之主幹教諭）

③ 学習・ICT関係（齋藤暁指導教諭）

④ その他（飛永副校長）

(4) 合唱コンクールの感想

(5) 分科会

① 地域防災

② 学習支援

③ 生徒・地域支援

(6) 連絡事項

(7) 副会長より



(1) 校長あいさつ

今月に入ってから、校内でも新型コロナウイルス感染症の感染や濃厚接触者で欠席する生徒が増えてきました。先月に行われた合唱コンクールは無事に実施することができましたが、3学期にはスキー教室（1, 2年生）を計画しています。校内での感染を広げないように感染拡大防止の対応を徹底して教育活動を進めていきます。会長のあいさつと重なりますが、分科会協議が活発となっていることはとても嬉しいことです。委員の皆様の想いが伝わってきます。ありがとうございます。生徒・地域支援部会で計画している「花みなみカフェ」を11月19日（土）に実施することになりました。まずは1回やってみようということです。どんなカフェになるか楽しみにしています。

(3) 学校情報について

① 学校全般・②教務関係（油井信之主幹教諭）

10月19日に合唱コンクールが行われました。練習場所に感染拡大防止のための制限があり、教室ではクラスの半数でしか歌うことが出来ない中での練習となりました。それでも生徒たちは今ある環境をいかしながらしっかりと練習していました。本番はコロナ禍となって初めて、全校生徒が参加する形で開催することができました。他の学年の歌声や演奏に感動する生徒が多くいました。生徒作文からも『3年生の歌声が素敵だった。』『私も3年生になったらあんな歌を歌いたい。』と3年生の思いが後輩にも届いていました。

合唱コンクール後は、3年生は進路に向けて三者面談が行われ、よいよ正念場です。2年生は高等学校調べ・発表を通じて、来年の自分の進路に向けて準備を進めています。1年生は、「エナジード」という教材を使い、自分の意見を述べる力と他人の意見を聞く力を育て、活発な意見交換を行いながら人間関係を深めて

いく新しい形のキャリア教育を始めました。全部で8時間程度実施します。2年生もこれから始めます。

11月14日からの期末テストに向けて、全学年テストモードになっている。その後は、3年生は1月から始まる入試や手続きに備えて、1・2年生は1月のスキー教室に向けてそれぞれ準備を行っています。

11月24日には、オリンピック・パラリンピックの講演会を実施します。元バレーボール日本代表大山加奈さんによる講演会と部活指導をお願いしています。どんなお話が聞けるのか楽しみです。12月初め、3年生は三者面談、1・2年生は二者面談を行います。三者面談では進路について、二者面談では長かった2学期を振り返り、3学期に向けて目標を確認していきます。また生徒に悩みや困り感を確認し減らすことも目的の一つとなっています。次回の学校経営協議会では「スキー教室に行ってきました」という報告ができると思います。生活面では、各学年、細かなトラブルはあるものの、落ち着いて授業を実施できている。このまま続くように努力していきます。地域の方も何かお気付きになることがあればお知らせください。今後もお力添えをお願いします。

③ 学習・ICT関係（齋藤暁指導教諭）

本校が取り組んでいる研究の形ができてきています。考え、伝え合う、深め合う活動が授業の中で行われ、生徒は主体的に学習に取り組んでいます。クロームブックについては、生徒は“自分が必要だ”と思う場面で主体的に活用し、その日に自宅で使いたいと思う生徒は生徒の判断で申し出て持ち帰っています。クロームブックの活用については、ルールが浸透していないところがあります。「いいのではないか」という判断のもと、他の人が写っている写真を共有して楽しんでしまうようなことがあったとき、自分で判断し選択したことは責任を負うことになることを考えさせています。『自由に選択し行動したことには責任が伴う』ということをこれから社会に出ていく生徒たちに伝えていきたいと思っています。

④ その他（飛永副校長）

玄関にサーモカメラを設置しました。学校に入る前に体温のチェックをすることができるようになりました。今年度の教室化工事はほぼ終了しました。あとは検査を待つだけです。旧被服室が、きれいな普通教室と小会議室、職員更衣室になります。次年度は、旧技術室と職員室に工事が入ります。旧技術室は、2つの普通教室になり、職員室は、現在職員室の隣にある職員更衣室をつなげて、大きくなります。生徒数の増加を見据えて、普通教室を増やし、職員室も大きくします。

（4）合唱コンクールの感想・意見

東海副会長 7組の太鼓の演奏を久しぶりに見るのができた。合唱ができたことも、吹奏楽部の演奏を見るのがきたこともよかった。

小林委員 久しぶりに合唱を見るのができた。コロナが落ち着けば、1、2年生も課題曲を聴いてみたい。生徒の鑑賞態度がとてもよかった。

眞部会長 3年生と1年生は、体格や声など迫力が違っていた。やはり3年生は素晴らしい。生徒の私語が全くない。とても静かに鑑賞していた。

（5）分科会

① 地域防災 ※防災危機管理課より2名ご参加いただいた

○避難所管理マニュアルの検討について

- ・前回の訂正箇所から検討すると時間が足りないので、前回までに決まったことに準じて今後は訂正する。
- ・今後は実際にどのように避難される方に指示していくか、本校の掲示や指示カード等の具体物の作成に着手する。

○検討中に話し合った内容

- ・どの自治会が花南中学校に避難してくるのか
→地域性を考え、大まかに区分けした。
- ・今後自治会の方とコンタクトをとるための連絡先等について
→市の方にも協力をいただき、連絡できる体制を構築する。



・今後の予定

→年度内に自治会の会長等と顔合わせを兼ねた防災設備（備蓄倉庫の確認やマンホールトイレ等の説明）の説明会などを検討する。

・避難所と避難場所の違いについて、委員の中から疑問が出たので防災危機管理課の方から説明していただく。本校は避難所だが、地域の方は自宅近くの公民館などにも詰めかけていくのではないかな？

→市でも周知するようにしていく。また、災害発生後、避難所開設までどのように待っていただくか事前周知をするための掲示物が必要などの提案を行い、担当者へ要望を伝えた。

② 学習支援

Ⅰ 検定推進委員会について

○前回、山田委員より検定推進委員会規約（案）の原案を引き続き検討した。

・規約の原案では、英語検定協会や漢字検定委員会から受け取ることができる会場運営費（現在は受け取っていない）を財源として、監督業務を引き受けていただいた方などに謝礼を支払うことの是非について意見交換した。

・謝礼を支払うことになると、これまで地域教育コーディネーター等から発信しているボランティアの依頼と検定推進委員会の検定監督の依頼との区別をつける必要がある。

・新たな会計業務が負担となることがないようにしたい。

・検定推進委員の募集時期・方法については再検討する。

○検定実施の流れを確認するとともに、これまで2年間の検定を実施するにあたり、監督ボランティアさんへの働きかけがどのように行われているのか、杉谷委員から説明があり、そこから見える課題等について検討した。

・監督をお願いするのはとても大変である。何とか検定試験が無事に進んでいくようにこれまで監督を経験してくれている方などに対して、募集をしないで済むように個別に依頼をすることもある。

・英語教員の経験者を毎回監督の一人として来ていただけることが可能になるかもしれない。

・英語検定はリスニングがあり、監督業務も負担が大きい。事前の練習などができることを周知することも必要ではないか。監督募集に際してQ & Aを配布するのも一案である。

・当日の問題対応のために、推進委員など指示判断できる者を、フロア毎に配置する、生徒の解答用紙(英検)への記入準備の方法の工夫、受検者名簿を担任に渡すことで遅刻者や欠席者の対応がスムーズにできるなど、細かな工夫で改善できる点もあるのではないかな。

③ 生徒・地域支援

Ⅰ 前回までの報告（今回の内容を分かりやすくするために再掲している）

・不登校など学校にフィットしない生徒を地域が支えるような場所、システム、関係性を作りたい。

・一方で、見知らぬ方からの声掛けは、声を掛ける方も掛けられる方も少し難しい。

・地域の方でも居場所を求めている人は多く、学校にそのような場所があるとありがたい。

→以上を踏まえて、以下のような段取りで生徒と地域の「支援」を形にしていきたい。

① 学校に地域の方が集まれる場所をつくる。（体育館棟の談話室が良いのではないかと考える。）

② その集まりの中で、校内ですれ違えば挨拶、など、少しずつ地域と生徒の顔見知りの関係を構築する。

③ その集まりの中で、学校関係のボランティア等で学校との関わりを広げていく。

④ 関わりが広がった中で、中学生もその場所にいることに違和感がなくなってくれば、不登校生徒等の居場所や支援といったものに繋がってくるのではないかな。

☆以上の検討をふまえて、試行的に花南中の保護者の方を対象とした「CSカフェ」を実施してみる。

目的：お子様が学校に行きにくいなど心配や不安を感じている保護者の方のホッとできるような場所
候補日、場所等：11月19日（土） 10:00～11:30 花南中の教室（未定）

2 臨時の分科会報告（10月31日（月）実施）

仮称「CSカフェ」を11月19日（土）に実施するにあたり、事前打ち合わせを行った。

前回の学校経営協議会では、分科会に5名の委員のうち2名（上原委員、加藤委員）の参加の中で、「CSカフェ」の実施について具体的な日程や内容について方向性を検討したが、実際に実施するにあたり、委員の想いをそろえる必要があるため、実施した。4名の委員と眞部会長、本校スクールソーシャルワーカーが参加し、方向性の確認ができた。また、CSカフェでは少し堅苦しい感じがするので、「花みなみカフェ」という名称にし、本校保護者向けの案内チラシの作成を行った。

3 前回の報告を引き継ぎ

「花みなみカフェ」についての話し合い

- ・ 具体的な内容の検討
- ・ 実施場所の見学
- ・ 小学校では「ふれあいタイム」として実施した学校もあり、その時のノウハウを共有
- ・ 回数は月1回を予定

(6) 連絡事項

- ① 鈴木公民館より 11月26日（土）・27（日） 公民館まつりを実施。コロナ前よりは縮小。
- ② 三小青少対より 11月12日（土） 青少対まつりを実施。花南中学生ボランティア参加
- ③ 八小 井口修校長 10月22日（土）運動会を実施。上級生の本気を下級生が見て感じている。

☆花みなみカフェを開催しました☆

11月19日（土）に花みなみカフェを開催することができました。感染拡大防止の観点から、旧技術室を会場としました。学校経営協議会委員と本校のSSW、そして数人の保護者の方とコーヒーなどを飲みながらゆっくりと話をするひとときとなりました。次回は1月28日（土）10:00～11:30を予定しています。また近くなりましたらご案内をスクールメールにて送付します。ぜひお越しください。



【編集後記】

本校のゆりの木の葉もほとんど落ちていよいよ冬を迎えます。寒くはなりますが、地域の皆様の想いや保護者の皆様のお気持ちにふれて、心は温かくなります。いつもありがとうございます。次回は年明けとなります。今年もまだあと1ヵ月ありますが、皆様よいお年をお迎えください。

次回、第7回学校経営協議会は1月26日（木）16:30～18:00 本校調理室にて実施します。

事務局長 主幹教諭 油井信之